



緊張と期待の入学式



4月7日、保護者と職員が見守る中、第27回生の入学式が行われました。県下の感染状況を鑑み、在校生の参加を見合わせ、国歌や校歌も聞くのみとしました。例年であれば、歓迎の在校生合唱があり、本校の合唱文化を新入生や保護者の皆さんに披露できる機会でしたので、本当に残念でした。式に臨んだ新入生は、皆一様に緊張している様子でしたが、堂々と入場し、呼名への返事もしっかりと出来ていました。また、校長に正対したお辞儀も立派でした。校長式辞では、「好き嫌いをしない」をキーワードに、食事、学習、部活動、友人関係で心がけてほしいことを話しました。(裏面参照) 新入生「誓いの言葉」では、中学校生活への期待や世界情勢を踏まえた普通の学校生活の有難さが語られ、これからの活躍を伺わせる立派な発表でした。感染症予防のため短時間で行われた入学式でしたが、凜とした雰囲気でもとても良い式になりました。

《誓いの言葉(抜粋)》新入生代表 吉田 悠さん

僕は今、この瞬間から始まる中学校生活にドキドキしています。勉強について行けるか、部活動では自分が納得できる活動に出来るか、不安なことはたくさんあります。しかし、その一方で楽しみにしていることもあります。新しい友達との出会い、新しい環境でたくさん学べることなど大きな期待を抱いています。これから始まる中学校生活の中で、悩んだりくじけたりすることもあるかもしれませんが、そんな時は共に協力し共に支え合い、最後まで一つ一つの物事に向き合い、行動していきたいです。

《歓迎の言葉(抜粋)》生徒会長 佐々木蓮人さん

今日、入学式を迎え、矢巾北中学校に登校してきた皆さんの心の中は、新しい生活への期待や不安など様々な気持ちが入り混じっていることでしょう。私たちも入学したときは毎日とても緊張していました。ですが、そんなとき優しく温かい言葉をかけてくれたのは、いつも熱いご指導をしてくださる先生方や先輩方。そして、共に入学した仲間でした。同じ思いを経験したから私たちだからこそ力になれると思います。悩み事があっても一人で抱え込まず、周りにいる人たちを頼ってください。私たちも先輩として皆さんをしっかり支えていきます。



令和4年度、矢巾町立矢巾北中学校 第27回入学式 校長式辞

寒さの厳しかった今年の冬もようやく去り、本校昇降口前のソメイヨシノにも色づいたつぼみが膨らみ、春の訪れを感じる今日のよき日、矢巾町立矢巾北中学校入学式を、保護者の皆様のご臨席のもと、挙行できますことを大変うれしく思います。

さて、125名の新入生の皆さん。入学おめでとう。皆さんの入学を心待ちにしていました。今日から、皆さんは矢巾北中学校の生徒です。「緑風北魂、相手に優しく、自分に厳しく」の校訓のもと、勉強に、運動に一生懸命取り組んでいきましょう。

今日は、皆さんが矢巾北中学校で大きく成長するために、大切にしてほしいことを一つだけ話します。それは、「好き嫌いをしない」ことです。成長期である皆さんは、身体をしっかりと成長させるために「好き嫌い」なくバランスの良い食事を摂ることが必要です。運動量も増えるので、しっかり3食摂れるようにしましょう。食事だけではありません。3年後の進路実現のために、学習面でも、「好き嫌いなく」全ての教科に力を入れて取り組んでください。「算数が苦手だった」という人でも、中学校で基本からしっかりと学んでいけば、きっと数学の面白さがわかるはずです。部活動も同じです。「運動が苦手だった」という人こそ運動部に入って、仲間と一緒に練習をしてみてください。できなかったことができるようになる喜びを感じることでしょう。また、友人関係も「好き嫌い」をしてはいけません。小学校からの気の合う友達はもちろんですが、違う小学校から来た友達や、自分とタイプが違ってちょっと苦手だなと思っている人であっても、実際話してみると意外と共通点が見つかり仲良くなることもあります。「食わず嫌い」をせず、様々な人と交流することで、自分を成長させていってください。

勉強と部活動の両立や生徒会活動など、中学校の生活は決して楽なものではありません。しかし、それをやり遂げた時の達成感は、小学校の比ではありません。苦しい練習を経て掴んだ大会での勝利。自分たちの力だけで成功に導いた生徒会行事。辛い受験勉強を乗り越えて手にした高校進学。言葉では言い表せない喜びが待っています。新入生の皆さんにも是非その喜びを味わってほしいのです。

これから君たちが生活する矢巾北中学校には、生徒の悩みに寄り添い、親身になって助言下さる先生方と、常に笑顔と行動力で後輩を引っ張るすばらしい先輩方がいます。先生方や先輩方の支えの中で、充実した三年間を送ることを期待しています。

保護者の皆様、お子さんのご入学、本当におめでとうございませう。本日に至るまでいろいろご苦勞があったことと存じます。大切なお子さんを、本日から私達、矢巾北中学校の教職員が責任をもってお預かりいたします。

さて、皆さんもご存知のとおり、新型コロナウイルス感染症は、変異ウィルスの影響もあり、なかなか収束を見ません。ここ岩手でも、連日200人を超える感染報告があり、いつまた休校となるかもしれません。正に先行き不透明な状況であり、不安に思われている保護者の皆様も多いことと存じます。しかし、そんな状況にあっても、子供たちの健全な成長のため、できる限り通常の教育活動を実施したいと、我々教職員は考えております。安全が確保され、安心して学習に打ち込める環境をつくるのが、今は大切と考え、日々努めております。どうぞ安心してお子さんを学校に送り出していきたいと存じます。

結びに、今後も本校の教育活動に、ご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げ、式辞といたします。

矢巾町立矢巾北中学校
校長 伊藤 茂美